

Ⅶ. 都市農業の多様な役割

○ 都市農業は、①新鮮な農産物の供給、②身近な農業体験・交流活動の場の提供、③災害時の防災空間の確保、④やすらぎや潤いをもたらす緑地空間の提供、⑤国土・環境の保全、⑥都市住民の農業への理解の醸成といった多様な役割を果たしている。

① 新鮮な農産物の供給



消費者が求める新鮮な農産物の供給、「食」と「農」に関する情報提供の等の役割

② 身近な農業体験・交流の場



都市住民や学童の農業体験・交流、ふれあいの場及び農産物直売所での農産物販売等を通じた生産者と消費者の交流の役割

③ 災害時の防災空間



火災時における延焼の防止や地震時における避難場所、仮設住宅建設用地等のための防災空間としての役割

④ 心やすらぐ緑地空間



緑地空間や水辺空間を提供し、都市住民の生活に「やすらぎ」や「潤い」をもたらす役割

⑤ 国土・環境の保全



都市の緑として、雨水の保水、地下水の涵養、生物の保護等に資する役割

⑥ 都市住民の農業への理解の醸成

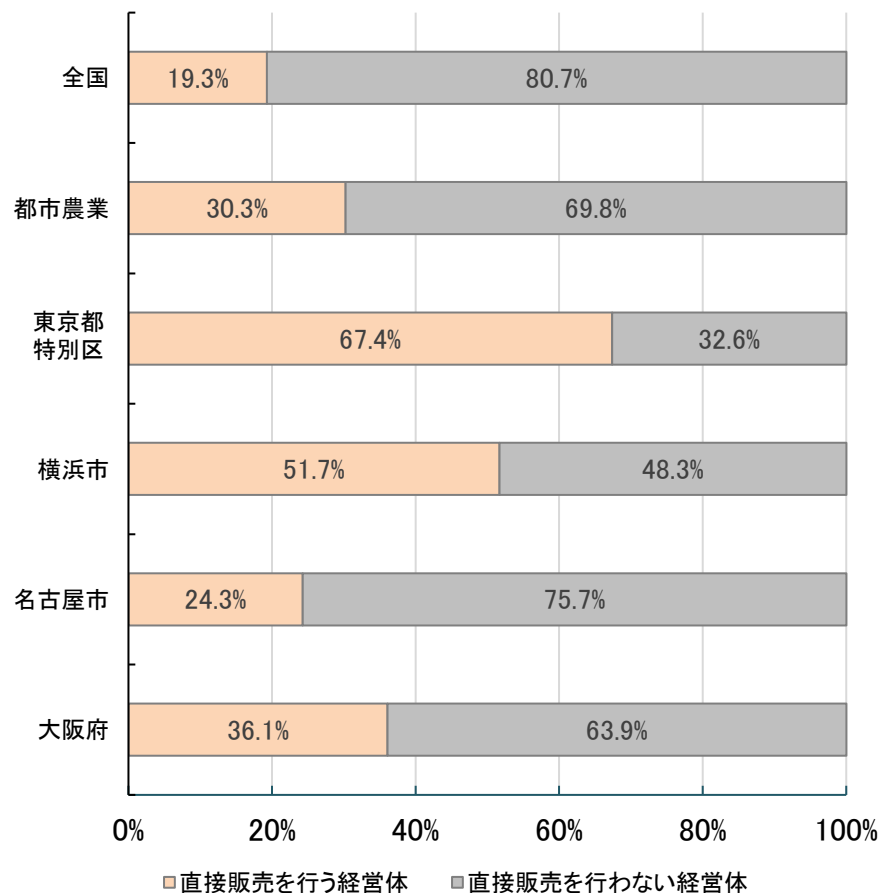


身近に存在する都市農業を通じて都市住民の農業への理解を醸成する役割

(1) 新鮮な農産物の供給

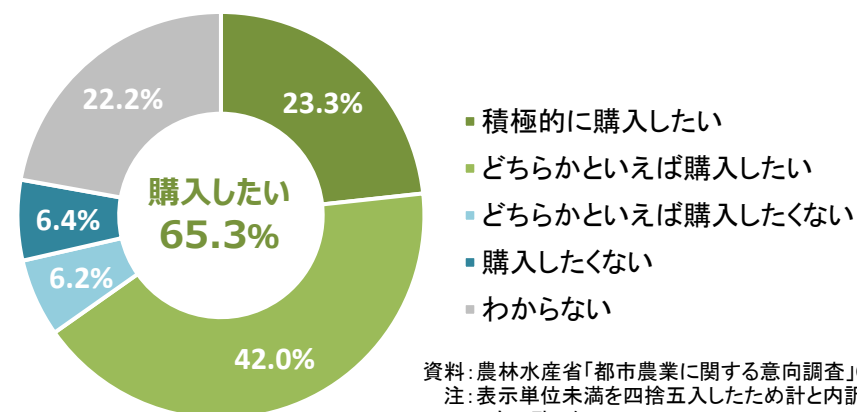
- 都市での農業生産は**野菜**を中心として、消費地の中で**鮮度の高い農産物**が生産されており、生産された農産物は、消費地の中での生産という特性を生かし、農協・市場へ出荷されるだけでなく、直売所等により**消費者に直接販売**されている。

○消費者へ直接販売を行う経営体割合



資料：農林水産省「2020年農林業センサス」（都市農業の数値は三大都市圏特定市の合計値）

○都市住民の地場産野菜の購入意思



資料：農林水産省「都市農業に関する意向調査」(R6.11)
注：表示単位未満を四捨五入したため計と内訳は必ずしも一致しない。



移動販売の様子

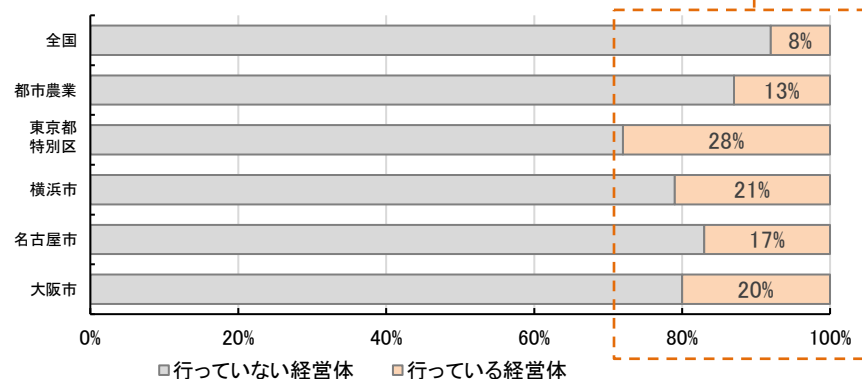


直売所の様子

(2) 身近な農業体験・交流活動の場の提供

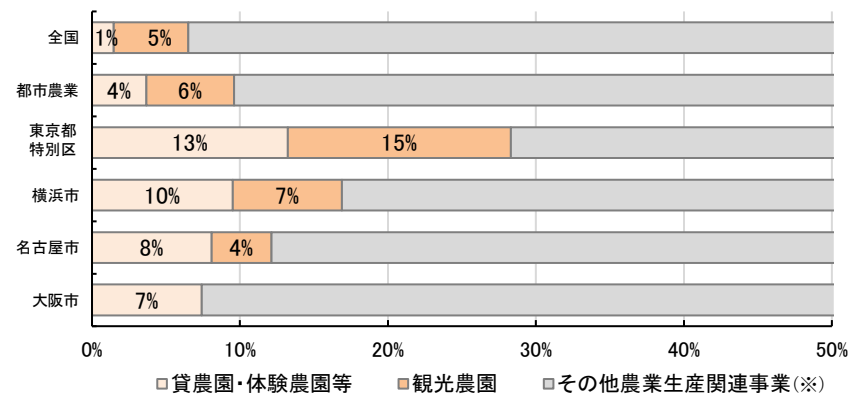
- 農作業体験を希望する都市住民は多く、農地が減少する中であっても**市民農園の開設は近年微増傾向**にある。また、農園主のきめ細かい指導の下で利用者が農業体験を行う「**農業体験農園**」の取り組みも活発。

○農業生産関連事業を行っている経営体割合



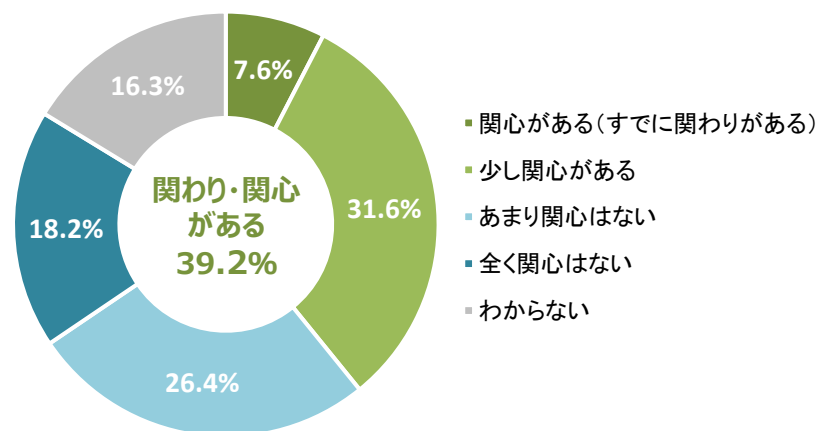
資料：農林水産省「2020年農林業センサス」（都市農業の数値は三大都市圏特定市の合計値）

<農業生産関連事業の内訳>



(※)その他の農業生産関連事業：農産物の加工、小売業、農家民宿、農家レストラン他

○都市住民の市民農園や農業体験等への関与意向



資料：農林水産省「都市農業に関する意向調査」(R6.11)

注：表示単位未満を四捨五入したため計と内訳は必ずしも一致しない。



農園利用方式の市民農園



貸付方式の市民農園



滞在型の市民農園

(3) 防災空間の確保

- 建築物の密集する都市において、農地は**貴重な空き地**でもあり、火災時における**延焼の防止**や地震の際の**避難場所・仮設住宅建設用地**等として多様な役割を果たしており、約6割の都市住民が災害時の防災機能の発揮に期待している。
- このような機能に着目し、農家や農協、地方公共団体により**防災協力農地の協定締結**が進められている。

○延焼シミュレーションによる農地の延焼防止機能（出火後、6時間経過後の延焼の拡大状況）

【①農地A、B、Cが現状のまま農地であった場合】【②農地A、B、Cが住宅地となった場合】



農地A、Bがあることから、その西側への延焼を防止

農地A、B、Cが宅地化されたことから、その西側へ延焼が拡大

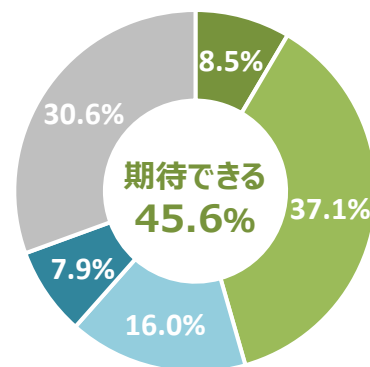
出典：(一財)農村開発企画委員会「都市農業の振興推進報告書」(平成24年度)

○防災協力農地の取組実施市区町（令和6年3月31日現在）

都道府県名	面積 (ha)	自治体数	取組市区町村名
埼玉県	7.1	9	川越市、草加市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、八潮市、富士見市、吉川市、
千葉県	40.0	3	船橋市、柏市、八千代市
東京都	1,052.2	31	世田谷区、杉並区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、日の出町
神奈川県	338.0	7	横浜市、川崎市、藤沢市、秦野市、厚木市、大和市、海老名市
愛知県	16.4	4	名古屋市長久市、瀬戸市、春日井市、小牧市
京都府	16.3	1	向日市
大阪府	59.7	14	大阪市、堺市、岸和田市、貝塚市、守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、和泉市、摂津市、高石市、四條畷市、交野市、田尻町
兵庫県	9.9	2	尼崎市、伊丹市
奈良県	- (※)	1	大和郡山形市 ※JAとの農産物の優先供出に関する協定内容であるため、農地面積の把握は行っていない。
広島県	3.6	1	広島市
愛媛県	5.3	1	松前町
高知県	0.3	2	高知市、南国市
福岡県	0.6	1	福岡市
合計	1549.4	77	

注：表示単位未満を四捨五入したため計と内訳は必ずしも一致しない。

○災害時の防災機能に対する考え方



- 防災機能として十分に期待できる
- 防災機能としてある程度期待できる
- 防災機能はあまり期待できない
- 防災機能は全く期待できない
- わからない

資料：農林水産省「都市農業に関する意向調査」(R6.11)

注：表示単位未満を四捨五入したため計と内訳は必ずしも一致しない。

○防災協力農地に重視する機能



防災協力農地看板の設置



防災協力井戸の設置

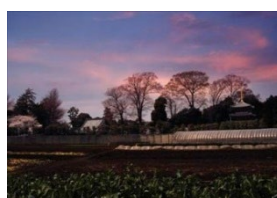
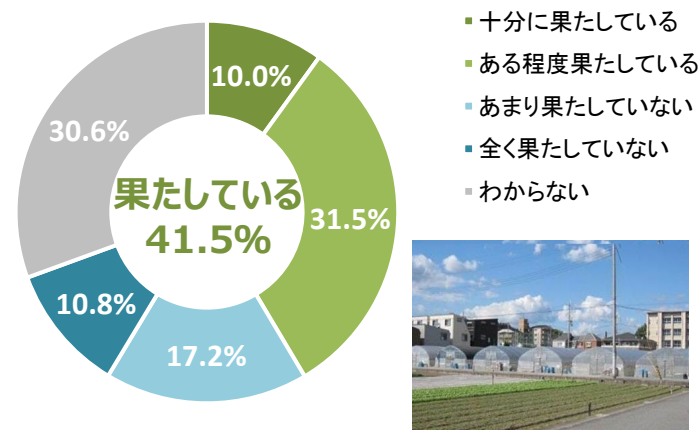
防災協力農地とは

農家が所有する農地について、農家や農家の同意を得たJAなどが地方自治体と災害発生時の避難空間、仮設住宅建設用地等として利用する内容の協定・登録等を自主的に実施する取組

(4) やすらぎや潤いをもたらす緑地空間の提供

- 都市農地は、市街地の中で**貴重な緑地空間、水辺空間**を提供しており、都市住民の生活に「**やすらぎ**」や「**潤い**」をもたらす役割を果たしている。
- 住宅政策でも、**住宅の供給等を着実に進める際には、地域ごとの住宅需要を見極めるとともに、地域の実情に応じた都市農地の保全の在り方に留意する**との考え方が示されている。

○都市住民の生活に「やすらぎ」や「潤い」をもたらす役割



資料：農林水産省「都市農業に関する意向調査」(R6.11)
注：表示単位未満を四捨五入したため計と内訳は必ずしも一致しない。

○住生活基本計画(全国計画) 令和3年3月19日閣議決定

第3 大都市圏における住宅の供給等及び住宅地の供給の促進

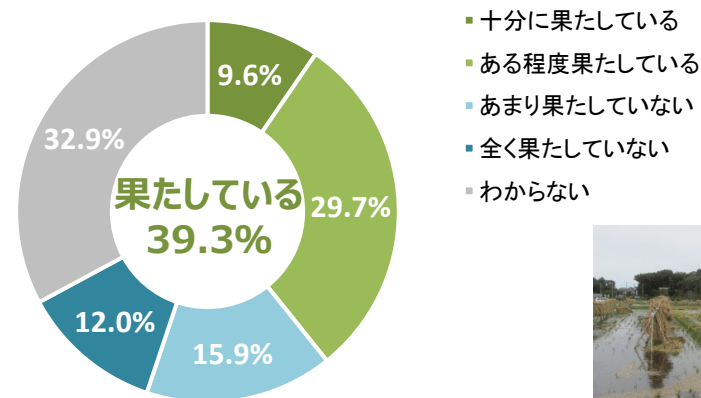
(1) 基本的な考え方

- ③住宅の供給等及び住宅地の供給を図っていくことが必要。その際には、地域ごとの住宅・宅地ストックのあり方を見極めるとともに、(中略)、**地域の実情に応じた都市農地の保全に留意することが必要。**

(5) 国土・環境の保全

- 都市農地は、樹林地等とともに都市の緑を形成する主要な要素となっている。これらの都市の緑は、**ヒートアイランド現象**(都市の中心部における高温地域の発生)の**緩和**、**大雨の際の雨水の保水、地下水の涵養等**により、**国土・環境の保全の役割**を果たしている。

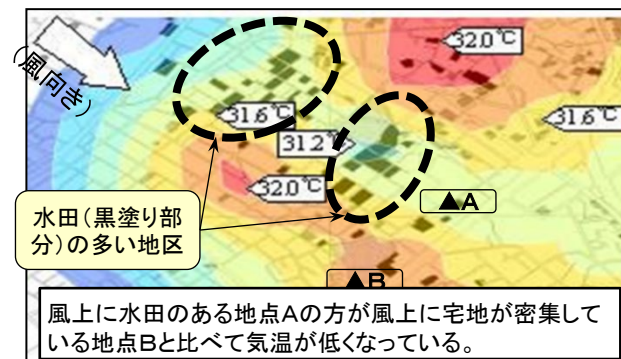
○都市農地の雨水の保水、地下水の涵養等の役割



保水機能を発揮した見沼たんぼ
(さいたま市、H25.10)
(写真提供：NPO法人 水のフォーラム)

資料：農林水産省「都市農業に関する意向調査」(R6.11)
注：表示単位未満を四捨五入したため計と内訳は必ずしも一致しない。

○都市農地周辺のヒートアイランド現象の緩和効果



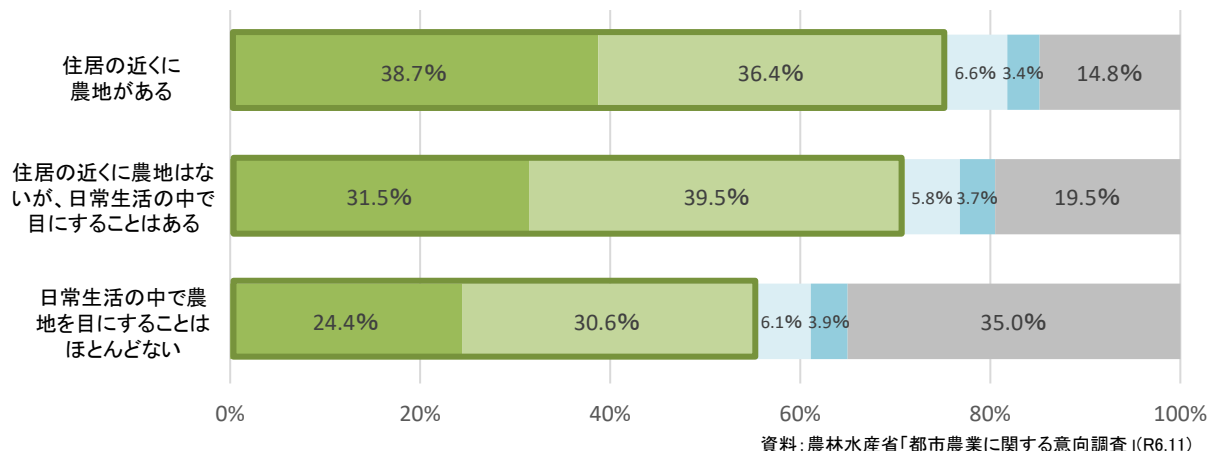
大阪府岸和田市における都市農地周辺の気温分布図(2004年8月11日午前11時)
出典：竹下伸一「都市農地がヒートアイランドにもたらす影響」環境技術Vol.35No.7(2006)

(6) 都市住民の農業への理解の醸成

- 農業・農地が身近に存在することで、都市住民が農業に触れる機会も増加するなど、都市農業にはこのような関わりを通じて都市住民の農業への理解を醸成する役割も期待される。

○農地との関わりと農地保全に対する考え方

- 是非残していくべき
- どちらかといえば残していくべき
- 積極的に宅地化など都市開発を進めるべき
- どちらかといえば宅地化など都市開発を進めるべき
- わからない



マルシェなどを通じた理解の醸成

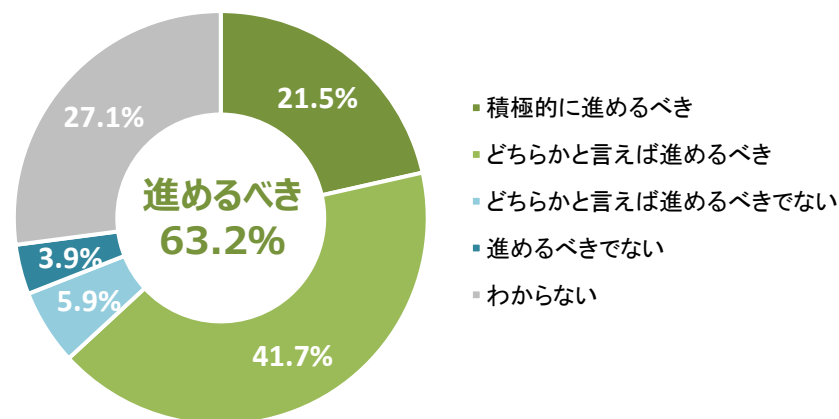


市民農園などの農業体験を通じた理解の醸成



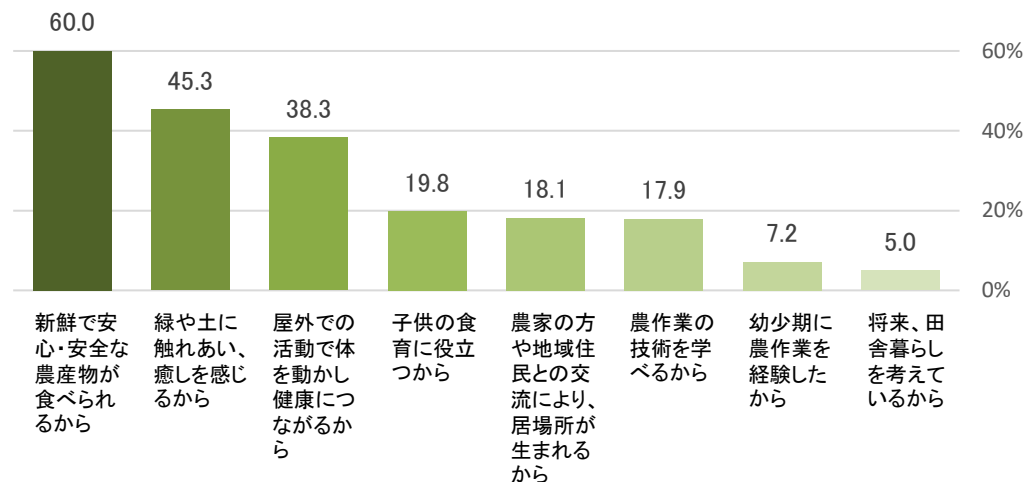
学校給食などの食育を通じた理解の醸成

○都市部の空き地を農地・農園に活用する取組に対する考え方



資料：農林水産省「都市農業に関する意向調査」(R6.11)
注：表示単位未満を四捨五入したため計と内訳は必ずしも一致しない。

○都市住民の市民農園や農作業体験等への取組理由



資料：農林水産省「都市農業に関する意向調査」(R6.11)